

第 8 回「木曽三川を語るフォーラム」議事次第

日時：平成15年7月20日（日）

13時00分～15時30分

場所：木曽川上流河川事務所

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1．事務所長挨拶 | 13:00～13:05 |
| 2．全体会議 | |
| 1) 平成15年度実施運営計画の確認 | 13:05～13:15 |
| 2) 運営相談員とその活動内容の確認 | |
| 3) 今年度自主活動の活動方針 | 13:15～13:45 |
| 木曽川自主活動 | |
| 長良川自主活動 | |
| 魚の環境自主活動 | |
| 豊かな川作り自主活動 | |
| 休憩と移動 | 13:45～14:00 |
| 3．分科会に分かれての意見交換 | 14:00～15:00 |
| A 木曽川自主活動 | |
| B 長良川自主活動 | |
| C 魚の環境自主活動 | |
| D 豊かな川作り自主活動 | |
| 4．各分科会の報告（各分科会） | 15:00～15:30 |

「木曽三川を語るフォーラム」における自主活動内容について

フォーラム参加者が関心のあるテーマ毎に集まり、意見交換を行う場として自主活動が始まりました。現在、木曽川自主活動、長良川自主活動、魚の環境自主活動、3つの自主活動が活動しております。

また、本年度より「豊かな川とは何か」について考える、「豊かな川作り自主活動」を新規に立ち上げます。

それぞれの活動内容は以下のとおりです。

< 木曽川自主活動 >

(H 1 3) 木曽川ぶらりまっぷ作成：木曽川三派川地区周辺の情報提供と川の利用に関するマナーづくり。小中学校の総合学習に活用されています。

(H 1 4) トンボ池再生への提言：地域の貴重な生態系を再生させるための提言・・・市民グループ「トンボ池を守る会」の発足の契機となり、それを受けて、地元笠松町も保全の取り組みをはじめています。

(H 1 5) 川とのふれあいを実際に体験できる場所、その内容をとりまとめ、木曽川とのふれあいを求める人たちへの有用なインフォメーションを作成します。

< 長良川自主活動 >

(H 1 3) 長良川ゴミマップの作成：ゴミ対策の啓発活動

(H 1 4) 市民から見た川の安全利用点検：安全利用の啓蒙活動

(H 1 5) 「川の歴史」について、よく知っている方から聞き取り調査をし、記録として残すことで、今後の川づくりの計画作成の際に参考となるものにします。

< 魚の環境自主活動 >

(H 1 3) 魚の遡上し易い魚道づくりの提案

(H 1 3、1 4) 揖斐川河道掘削に関する魚の産卵床の提案：生物生態系に配慮した河道掘削方法が提案され、現在、それに基づき事業を進めています。

(H 1 5) 木曽川における豊かな魚環境の再生を目的として、魚類を中心とした生態系変化を調査します。

< 豊かな川作り自主活動 >

(H 1 5) 山の一滴の源流から河口に至る川全体を客観的に捉え検証し、「豊かな川作り」について考えます。本年度より新規に立ち上げます。

「木曽三川を語るフォーラム」では、お互いを認め合い、ルールを尊重し協力し合って活動していくための4つの原則をつくりました。

1 参加者全員が平等の立場にあり、参加者の話し合いによって運営し活動する。

2 参加者はそれぞれの発言を尊重し、お互いの立場を理解し話し合う。

3 参加者の話し合いの情報は公開し、共有財産として活かしていく。

4 河川管理者は参加者に対して、河川に関する情報、行政の仕組みなどの情報提供を行う。

「木曽三川を語るフォーラム」事務局代行

国土交通省中部地方整備局 木曽川上流工事事務所 調査課

〒500-8801 岐阜市忠節町5丁目1番地

TEL／058-251-1321(代)

FAX／058-251-1150

ホームページ／<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/fourm/main.html>

いっしょにやろう。

フォーラムでは、話し合いのほかに勉強会や見学会、自主活動などいろんなことをしています。
実を結んだことも結構あります。

木曽川利用マップづくり。

意見、アイデアで、
ワイワイ、がやがや。



治水勉強会。

知らないこと、意外な
ことが多くてビックリ。



ラジコンは、楽しい。

安全のためにルール
づくりもやりました。



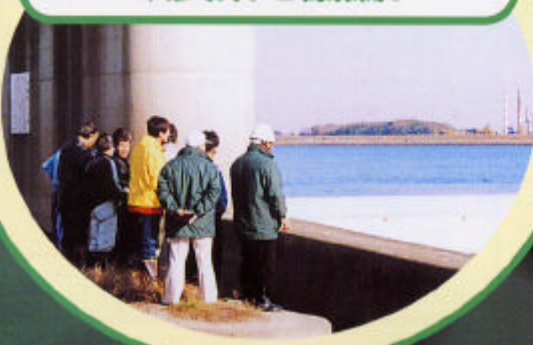
みんなで清掃活動。

やってみると
けっこう楽しい。



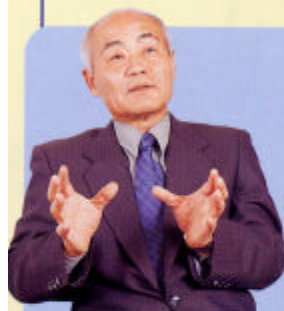
魚の環境を調べました。

このあと、みんなで
改良案を議論。



いっしょに話そう。

フォーラムにはいろんな人が参加して、いろんな夢やアイデアを語り合っています。
時には辛口の意見も出たりします。



岐阜市
松波玄海さん

参加の動機 森林ボランティアに参加していて、川のゴミの多さに驚いて自主活動のゴミマップづくりに参加しました。

わたしの夢 川をきれいにしようとする人の輪を広げていきたい。自分たちの力には限界があるので、特に地域のボランティア団体を巻き込みたい。そうやって大規模な環境ムーブメントを起こしていきたい。



笠松町
可児幸彦さん

参加の動機 木曽川の写真を撮り続けてきて、自然のすばらしさを痛感しています。これを子供たちに触れさせてやる方法を話し合いたかったから。

わたしの夢 ウォーキングコースをもっと整備して欲しい。歩くことは健康の原点。自然との触れあいは創造力の原点です。ウォーキングは、それを家族で楽しめます。



本巣郡
高橋直美さん

参加の動機 長良川環境レンジャーの活動に生かせるような河川や自然の知識を増やしたかったから。

わたしの夢 三川で生徒さんたちといっしょに水生生物調査をしています。子供だけでなく大人にも関心を持ってもらえるような調査にしたいと思っています。



本巣郡
日吉熙十郎さん

参加の動機 ラジコンを長年やっています。河川敷などで勝手にやっていると安全面で問題が出る。だから河川法と環境について勉強したかった。

わたしの夢 ラジコンで河川敷を使うときのルールを作りました。いま水上バイクもモトクロスも勝手にやっている。そういう人にもルールを作ってもらいたい。私たちは節度ある河川敷利用のモデルになりたい。



大垣市
千葉豊さん

参加の動機 昔から魚マニアで、魚息調査をやっていたら、それが本業になった。行政への不満もあるが、批判するだけでなく自分から取り組みたくて参加しました。

わたしの夢 今は三川とも同じような生き物しかいません。川に個性が無くなってきた。昔のように、生態系も含めて個性のある川づくりがしたい。つくるといふより復元です。子供たちに、そういう川を残したい。



大垣市
川合千代子さん

参加の動機 役所にも変化が見えて、私たちが言ったことを聞いてもらえるようになった。だから、いっしょに勉強してみようかなと。

わたしの夢 フィリピンやミクロネシアでもお手伝いしてきました。そういうところで感じたのは、人間はそんなにモノがいらないんじゃないかということ。将来に向け本当に自然に優しい工法を考えていきたい。それが、子供達へのいい贈り物になると思います。



大垣市
伊藤茂保さん

参加の動機 自然環境や防災などに関心があり参加しました。

わたしの夢 昭和51年の大洪水で大垣市も浸水した。その後、大きな出水もなくそれに対する危機意識が薄れかけているので、当面、その怖さを市民に訴えかけられるようなことがしたい。



木曽川上流工事事務所調査課
堀謙一郎

参加の感想 いろんな意見が出て勉強になります。行政に対する批判も出ますよ(笑)。このフォーラムみたいに住民の方と率直に話し合う機会がこれまでなかったので、きつい面もあるけど(笑)、楽しいですね。やりがいがあります。

わたしの夢 もっとたくさんの人に参加してもらい、もっと大きなフォーラムにしたい。特に若い人に参加してもらい、いっしょに話したいですね。



話したいこと、聞きたいこと、語り合うこと、いっぱいあります。

川は私たちの暮らしと深く関わっています。飲料水、工業用水、農業用水など日常生活になくてはならないライフラインであると同時に、歴史を彩る舞台や芸術の題材にもなります。美しい流れや生き物たちにいやされる、かけがえのない環境でもあります。また恐ろしい水害に備える治水も大切な問題です。川をこれからどうしたらいいのか、みんなで話し合いたいことがいっぱいあります。

「木曽三川を語るフォーラム」って何？

木曽三川を利用している人、川を愛する人、川に関心を持つ人が集まり、それぞれの立場から川に対する意見やアイデアを出し合う、自由な語らいの場です。地域住民と河川管理者が信頼関係を深めながら、いっ

自由な
発言

自主的な
運営

情報
公開

参加者の声はどう活かされる？

「木曽三川を語るフォーラム」で出された意見や提案は、川づくりに活かされていきます。また、こうした

フォーラムでの意見、提案

反映

今後の川づくりの計画

フォーラムの背景と歴史

「治水」「利水」を目的とした以前の河川法は、地域の発展に大きな役割を果たしました。しかし社会のニーズの変化により平成9年に改正。新たに「河川環境の整備と保全」が大きなテーマとして位置づけられまし

た。これにより、地域住民と河川管理者が一体となって川づくりに取り組むことが、以前にも増して重視されるようになりました。第1回のフォーラムは平成11年8月に開かれました。

従来の河川
行政のテーマ
治水+利水

平成9年
河川法
改正

現在の河川
行政のテーマ
治水+利水
+環境

フォーラムの成果

川を知るための勉強会や現地見学会を行う中で、参加者による自主活動が始まりました。自主活動はこれまで5つの活動があり、それぞれ独自のテーマを持ち、活動してきています。活動の中からさまざまな成果も生まれています。



- 市民からみた木曽川利用マップづくりを行う
木曽川自主活動
- 長良川ゴミマップづくりやゴミに関する
市民意見を述べていく長良川自主活動
- 地域住民の危機管理のための
治水マップづくりを進めている瀬田川自主活動
- 17ラジコングループ共通のルール「河川敷でのラジコン飛行
における使用10ヶ条」を作成したラジコン利用自主活動
- 魚の目で見えた川の環境に対する提言を行う
魚の環境自主活動

などです。